



04



03



02



01



08



07



06



05

01_磐梯神社で御神火授与祭に臨む巫女と天狗 02_磐梯神社でともされた御神火を、おまつり広場に移す前後町長 03_やぐらの上で、はやしを演奏する参加者。軽やかなはやしの音色に、踊る人たちの気分も盛り上がる 04_猪苗代高校の生徒会が町商工会青年部と協力しておまつり広場に出店。ノンアルコールカクテルなどを販売し、好評を博した 05_磐梯山を彩った「山」の火文字 06.07.12_おまつり広場のステージでは、太鼓の競演やバンド、よさこいなど、多彩な演奏や演技を繰り上げ、まつりを盛り上げた。本町出身のジョニー小椋さん(写真12左)が所属するバンド、ジョニーカンパニーは復興支援ソング「絆」を披露。アマ

チュアバンドの出演者や観客らと一緒に歌った 08.09.10_子どもたちも大勢訪れ、まつりを満喫した。マジカルバルルーンZ(写真09)は、風船のパフォーマンスで子どもたちを熱狂させた 11_会津磐梯山総おどりの最後には、参加者らが万歳三唱をしてまつりを締めくくった 13_町内小学校の児童などが参加した音楽パレード。わが子の演奏を一目見ようと、沿道には大勢の保護者らが訪れた(写真は翁島小学校の児童ら) 14_読経と焼香で犠牲者の冥福を祈った噴火殉難者供養祭(7月15日) 15_総おどりでは、町内外から参加した約1,000人が、中央商店街に組まれたやぐらを囲み流し踊った

「火に託す二つの心『祈り』と『感謝』」をテーマに繰り広げられた今年のまつり。悪天候のため、27日の山車とみこしの競演やたいまつり行列などが中止となりましたが、好天に恵まれた28日は多くの人でにぎわいました。まつりの様子を写真で紹介します。

今年で65回目となる磐梯まつりは、7月27、28の両日、旧役場跡地・おまつり広場をメイン会場に開催されました。

猪苗代の夏の風物詩ともいえるこのまつりは、明治21年7月15日の磐梯山噴火で殉難した人々の追悼と供養を目的として始まったもので、五穀豊穡や町民の安寧を祈願する「火の祭り」として継承され、発展を遂げてきました。

第65回 磐梯まつり

火に託す「祈り」と「感謝」



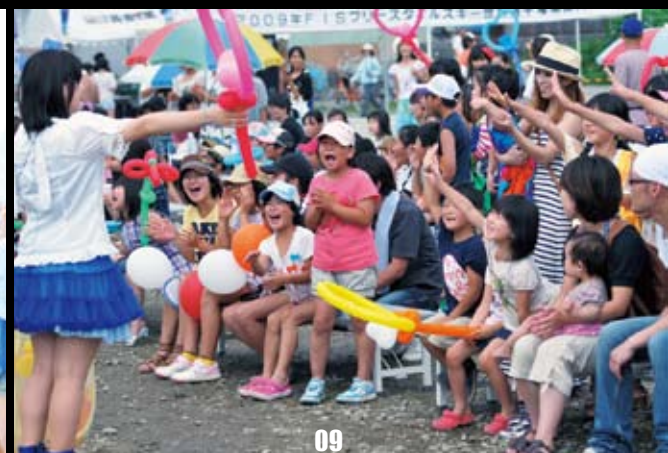
15



11



10



09



14



13



12